

スマートシティNAGANO基本計画(案)に対する 市民意見等の募集結果及び計画(案)の決定について

実施概要

- ▶【募集期間】 令和4年2月17日(木)から令和4年3月18日(金)まで
- ▶【閲覧及び意見用紙配布窓口】 市ホームページ、本庁(企画課、行政資料コーナー)、各支所
- ▶【意見提出方法】 書面(持参、郵送、FAX)、電子申請及び電子メール

募集結果

対応区分	対応方針	件数
1	計画案を修正する。	2
2	計画案に盛り込まれており、修正しない。	0
3	計画案は修正しないが、今後の取組や実施事業において検討又は参考とする。	3
4	検討の結果、計画案を修正しない。	3
5	その他(状況説明など)	5
合 計		13

スマートシティNAGANO基本計画(案)のパブリックコメント結果一覧

1 計画案を修正する。					
連番	ページ	意見・提案内容	回答	対応区分	対応方針
1	3	(現行案)脱炭素で防災力の高い強靱なまち →(提案)脱炭素で防災力の高い強靱なまち (理由)現在では「強靱な」で形容詞になっているため。「的」は不要である。公的文書で「強靱的な」という語句を使っている文章は見たことがない。	「スマートシティNAGANO宣言」においても3S戦略の中で「強靱なまち」と表現しておりますが、ご指摘のとおり、宣言文と併せて修正いたします。	1	計画案を修正する。
2	その他	市民新聞を読んで基本計画を読ませていただきました。 カタカナが多く一般市民には難しい内容でした。 デジタルを活用したスマートシティを目指すということですが、市民の生活がどのようにかわるのかがいまいちわかりにくかったです。 19年の水害を教訓にどのように防災・減災に取り組んでいくのか、具体的な取り組みが知りたいと思いました。 デジタル化するうえで情報難民となりやすい高齢者への配慮も気になります。	本基本計画は、スマートシティが目指すビジョンや推進体制等大枠を定めたものであります。 市民の幸せ実現のため、地域課題を解決していくことはスマートシティの目的とするところであり、防災・減災も含めた具体的取組、情報格差対策等につきましては、今後、実施計画を策定し、具体的に示していきたいと考えております。 なお、カタカナの難しい用語については、用語解説を増やします。	1	計画案を修正する。

3 計画案は修正しないが、今後の取組や実施事業において検討又は参考とする。

連番	ページ	意見の要旨	回答	対応区分	対応方針
3	その他	高齢者がスマートフォンでタクシーを呼んだり、買い物をしたり、健康管理が出来る等 自在にITを使いこなす、スマートシティ長野市が目指す一つの目標ではないでしょうか。 高齢者の暮らしがIT技術の活用でクオリティーの高いものになる、その成果としてシニアの活力が街づくりの大きな原動力となるでしょう。ぜひ長野市スマートシティ形成の一要素として高齢者のIT化に取り組んでいただきたいと思います。	本市の行政DX推進計画とも連携し、高齢者の方々との情報格差対策を進めてまいります。また、移動手段の確保、健康管理は、本基本計画の重点テーマともなっており、高齢者にとってもメリットを実感できる事業となるよう展開してまいりたいと考えております。	3	計画案は修正しないが、今後の取組や実施事業において検討又は参考とする。
4	10	「小さく産んで大きく育てる」とはよく耳にする役所用語で、3%の消費税は10%に、1割負担の医療費は3割になりました。 その時々的情勢に合わせ最善を尽くすべく、臨機応変に対応した結果でしょうが、問題なのは、誰が・何处で・どんな発言をして方向を変えたかが曖昧で、責任の所在が分かりづらいことです。 アジャイル型はこれに「御墨付き」を与えるもろ刃の剣となるでしょう。羊頭狗肉の結果とならないためにも、中間検証の結果や検討時における発言等を詳細に開示するなど、信頼を担保できるような徹底した情報の公開策を明示すべきと思います。	スマートシティ推進にあたり、PDCAサイクルの中で定期的な事業報告会を開催し、情報公開するほか、NASCの活動報告についてもホームページ等で随時発信するなど、市民に対し経過説明を適切に行ってまいります。	3	計画案は修正しないが、今後の取組や実施事業において検討又は参考とする。
5	4	「サンマリーンながの」の農業版を造れたら良いのではと提案します。 焼却施設やバイオマス発電施設の近くに農業用ハウスを建設し、農業法人等に貸し出すのはどうでしょうか。 また、障害者の就労体験の場として、また就労の場として提供する。 ハウス内は温度調節が出来、会社勤務の様に暑さ寒さを余り感じないで作業ができる環境が良いと思います。	ゼロカーボン・フードテックについてもスマートシティ推進における重点テーマとなっており、今後、庁内担当課とも連携しながら、研究してまいります。	3	計画案は修正しないが、今後の取組や実施事業において検討又は参考とする。

4 検討の結果、修正しない

連番	ページ	意見の要旨	回答	対応区分	対応方針
6	5	(現行案)「モノ」・「コト」・「ヒト」・「カネ」 →(提案)「ヒト」・「コト」・「モノ」・「カネ」の順にする。 (理由)普通は、「ヒト」・「モノ」・「カネ」の順番である。 「ヒト」=人財が全ての基本であり上位に来る。 「ヒト」が「コト」「モノ」「カネ」の全てを生み出す。 現行案では、長野市は「ヒト」を軽視(人権の軽視・無視)をすることになる。 現行案のサイクル図は、PDCAサイクル図との類似性に捉われ過ぎていて、図としては物事の本質を見失っている。 「カネ」という語句も「上質の暮らし」を目指すにしては、下世話な言い方である。 6ページの図も5ページの図に合わせて作り変える。	スマートシティを目指す「サーキュラーシティ」とは、まず第一に、豊かな地域資源を活かした環境と経済が調和する、クリエイティブなまちを創り出すことにあります。「ヒト」の循環はそうした創造的な都市となつて一層活発になることから、「モノ」・「コト」・「ヒト」・「カネ」の順番サイクルとしております。「ヒト」を軽視したものではなく、サーキュラーシティが形成されるプロセスとして捉えております。 「カネ」の語句表現については、経済活動の要素として、市民にとってイメージのしやすさを優先した結果であります。	4	検討の結果、修正しない
7	6	(現行案)「モノ」・「コト」・「ヒト」・「カネ」 →(提案)「ヒト」・「コト」・「モノ」・「カネ」の順にする。 (理由)普通は、「ヒト」・「モノ」・「カネ」の順番である。 「ヒト」=人財が全ての基本であり上位に来る。 「ヒト」が「コト」「モノ」「カネ」の全てを生み出す。 現行案では、長野市は「ヒト」を軽視(人権の軽視・無視)をすることになる。 現行案のサイクル図は、PDCAサイクル図との類似性に捉われ過ぎていて、図としては物事の本質を見失っている。 上から3行目の文章も「モノ・コト・ヒト・カネ」→「ヒト・コト・モノ・カネ」の順番にする。「カネ」という語句も、「上質の暮らし」を目指すにしては、下世話な言い方である。5ページの図も、6ページの図に合わせて作り変える。	スマートシティを目指す「サーキュラーシティ」とは、まず第一に、豊かな地域資源を活かした環境と経済が調和する、クリエイティブなまちを創り出すことにあります。「ヒト」の循環はそうした創造的な都市になつて初めて生じるものであることから、「モノ」・「コト」・「ヒト」・「カネ」の順番サイクルとしております。「ヒト」を軽視したものではなく、サーキュラーシティが形成されるプロセスとして捉えております。	4	検討の結果、修正しない
8	5,6	(現行案)「モノ」・「カネ」・「コト」・「ヒト」のZ型配置 →(提案)「ヒト」・「コト」・「モノ」・「カネ」の順にする。 「ヒト」を左上の最重要項目に持ってくる。 (理由) 4つの項目を、縦横2列の正方形の並びで表示すると、項目の上位から下位へは「重要度の高いものは左上に、低いものは右下に」というZ型配置の流れになるのが通常です。多くの方々は、そう見ますし、図を作る側も、そのような意図をもって図を作ります。計画案の図によると、長野市の言うことは、重要度の上位から順番に「モノ」、次に「カネ」で、「ヒト」は最下位ということになります。長野市は、公的な文書で「モノ」「カネ」の方が大事で、「ヒト」は最下位だと公言していることになります。計画案は、長野市企画課の方々が自らお作りになったのか、または外部コンサルに叩き台を作らせたものかは存じませんが、今のままでは、長野市が「拝物主義」や「拝金主義」に侵されて、「ヒト」=人権を軽視していると受け取られかねません。できれば、即刻、パブコメを中止(一旦休止)していただき、計画案の練り直しをしていただくことをお奨めします。ご検討の程よろしくお願いいたします。	スマートシティを目指す「サーキュラーシティ」とは、まず第一に、豊かな地域資源を活かした環境と経済が調和する、クリエイティブなまちを創り出すことにあります。「ヒト」の循環はそうした創造的な都市になつて初めて生じるものであることから、「モノ」・「コト」・「ヒト」・「カネ」の順番サイクルとしております。「ヒト」を軽視したものではなく、サーキュラーシティが形成されるプロセスとして捉えております。	4	検討の結果、修正しない

5 その他(質問への回答や現状説明など)					
連番	ページ	意見の要旨	回答	対応区分	対応方針
9	その他	市民に課税している額を減らす	市民税は地方税制のルールに基づき、社会情勢を考慮しながら、市が課税するものであり、スマートシティの取組の中で直接的な影響はございません。	5	その他(質問への回答や現状説明)
10	5	丸光がトイーゴに、市民会館が芸術館に。昭和通り沿いの建物が次々に生まれ変わり、門前プラザも近々建て替え予定です。その時、県庁はどうなるのでしょうか。 善光寺断層の真上に中央消防署を建てた長野市には理解できないかもしれませんが、県庁下へと続く断層がある以上、現在の場所に県庁を建てなおすことは不可能でしょう。では何処にするのか？ ハザードマップや密集地を見る限り長野市内に適地は見当たりません。首都圏を見ると県名と所在市名が一致するのは千葉(埼玉は名称変更)だけなので、須坂市や千曲市の大規模開発地に隣接するのも妥協案です。でも松本や上田に取られかねません。 県庁所在地基盤は如何にして守るかを、早急かつ慎重に検討するべき課題だと思います。	「サーキュラーシティ」のビジョン達成を目指し、スマートシティを推進することで、長野市の都市としての存在価値を向上させ、県庁所在地基盤を維持していきたいと考えています。	5	その他(質問への回答や現状説明)
11	5	逆の事例はよく見かけます。例えば電気。飯山の街から斑尾へ向かうと大きな鉄塔や送電線がありますが、これは中部電力上越火力発電所からのもので、東北信は元より上伊那や駒ヶ根辺りまでの電力を賄っていると言われます。 電気は「明るいね・暖かいね・」という間に消えて行きますが、その代償として支払われた電気料金は、固定資産税や港湾使用料になって上越市を潤すのです。 この辺りから考えを改めないと、どんなに新産業を興しても「地域で稼いで外に吸われる」構造から脱却できないでしょう。搾取され痩せ細るからスマートシティでは堪りません。	環境に配慮し、ゼロカーボンを達成する観点からも太陽光発電やバイオマス発電など再生可能エネルギーを利用した取組を進めてまいりたいと考えています。	5	その他(質問への回答や現状説明)
12	5	北陸新幹線、上信越自動車道、国道18号…。長野市は優れた首都圏アクセスを持つように思われますが、全てが碓氷峠を通過します。万一浅間山が有事の際はどうか。 松本市なら甲信県境が不通になっても松本空港が使えます。飯田市ならリニアが不通でも中央道や三遠南信道が代替えとなるでしょう。 万一の事態に対して、上越・中越を大回りせざるを得ない長野市の首都圏アクセスは、お寒い限りと言わざるを得ません。これを基礎として構築された計画は砂上の楼閣でしかなく、台風19号災害からの学びや、防災及び事業継続力・サプライチェーンの維持等を含めて再考が必要と思われます。	台風19号災害の教訓も踏まえ、首都圏アクセスや業務継続計画等、様々な視点から、市全体で検討してまいりたいと考えています。	5	その他(質問への回答や現状説明)

連番	ページ	意見の要旨	回答	対応区分	対応方針
13	5	都市の活力を保つため、定住人口の減少を交流人口で補う手法は各地に見られますが、善光寺にその魅力はあるのでしょうか。 例えば、縁結びを御利益としている出雲大社。昔は結婚したら添い遂げるものでしたが、今ではバツ1バツ2は当たり前で、その都度お願いに来てもらえます。 「令和」で有名になった太宰府天満宮は学問。幼稚園のお受験から小・中・高・大・入社の試験。社会人になっても資格や昇任の試験が続き、その都度お願いに来てもらえます。 善光寺の御利益は言わずと知れた極楽浄土で「遠くても一度は参れ・・・」と言われたものですが、現代の少子高齢化が進行する世の中で「亡くなる人が減少する」事態となれば、今までと同じ集客力を維持できるのかは疑問です。	善光寺では例年、灯明まつりやNAGANOデザインウィークなどのイベントを市や関係団体と連携して実施しているほか、数え年で7年に1度の善光寺御開帳に際しては、「日本一の門前町大縁日」を併せて開催するなど、その時々に応じて、善光寺の魅力を引き出す取組を進め、観光プロモーションにつなげています。	5	その他(質問への回答や現状説明)